

# 摩周一一〇番

弟子屈警察署  
所在地交番  
☎482-2110  
川湯駐在所  
☎483-2151

## ストップ・ザ・交通事故 目指せ安心で安全な北海道

- ▼余裕を持った運転を！  
目的地までの天気や道路状況を事前に把握して、時間に余裕を持って出発しましょう。
- ▼車間距離は夏場の2倍以上！  
冬道での事故で最も多いのは、スリップによる追突事故です。スピードダウンを心がけ、車間距離は夏場の2倍以上保ちましょう。
- ▼「急」のつく運転操作をしない！  
急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキなどの運転操作は、スリップ事故につながり危険です。路面状態に合わせた運転を心がけましょう。
- ▼交差点に注意！  
交差点は、雪山で見通しが悪くなっています。徐行や安全確認を徹底しましょう。
- ▼悪天候に注意！  
吹雪や大雪などの悪天候時には、吹きだまりや視界不良による立ち往生などの危険が伴います。不要な外出は控えましょう。



### 暴風雪災害に注意！

- 例年1月から3月の間に、暴風雪災害が発生しています。車で外出するときは、立ち往生などに備え、次のことに注意しましょう。
- ▼外出する前に、天気予報を必ず確認しましょう。
- ▼車内ラジオ、携帯電話などで情報収集をしましょう。
- ▼(通行止めや警報の確認など)  
▼万が一に備えて、スコップ・防寒着や毛布・カイロ・飲み物や非常食などを車に積んでおきましょう。
- ▼運転中に地吹雪などにより危険を感じたら、無理することなく、近くの駐車場などで天気の回復を待ちましょう。
- ▼車が立ち往生してしまったら、無理をせずにロードサービスや警察・消防に通報しましょう。
- ▼不要不急な外出は控えましょう。



### 緊急通報は110番 相談電話は#9110



110番は、事件・事故などが発生した場合に警察へ通報するための緊急電話です。110番に出た警察官が、事件・事故の内容について必要な事項を質問するので、慌てず、落ち着いて、正しく答えてください。急を要しない相談や照会などは、警察相談専用電話#9110、または最寄りの警察署や交番、駐在所などにお問い合わせください。

### あけましておめでとうございます

昨年、警察活動に対するご理解とご支援をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。今年も署員が一丸となり、地域の皆さんが安心して暮らせる犯罪や事故のない弟子屈町の実現に向け、一層努力してまいりますので、よろしくお願いいたします

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐかけつけます。お気軽にご連絡ください。

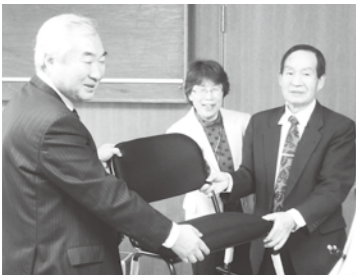


まちづくり政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

11月11日

### 福祉センターで活用してほしい 有志の会が寄附募り座敷用椅子を寄贈

座敷用椅子を手渡す竹内代表(右)



「福祉センターに座敷用椅子を贈る会(竹内勲代表)」の皆さんが11月11日、社会老人福祉センターに座敷用椅子30脚と壁かけ時計を寄贈されました。

高齢者の方など和室で座ることが困難な方に、より快適で便利に同センターを利用してほしいと、有志で会をつくり、多くの皆さんに寄付を募って寄贈されたもの。賛同された105人の方から121,140円の寄附が寄せられました。

竹内代表は「幅広い年齢の方に活用してもらえたらうれしい」と話しています。

11月16日

### 弟子屈の観光資源をあらためて知る 弟子屈高校生で和歌山大学生が観光の授業

事例発表を行う和歌山大学生



弟子屈高校(木村浩士校長)で11月16日、和歌山大学観光学部の学生による観光の授業が行われました。

高大連携事業の一環。毎年、全国高校生観光プランコンテストに挑戦するなど、地域の観光について学んでいる同校において、来年のプラン作成の参考になればと行われたもので、2年生が受講しました。学生たちは、9月に幕別町で行った観光資源調査の事例を発表。「地域の自然や地元に住む人たちが観光資源」「自分が住む地域のことを知ってほしい」と強調。高校生からは多くの質問が出され、活発な意見交換が行われました。

11月17日

### 領土問題を再認識 「目で見ると北方領土」視察研修

北方領土の近さに驚く参加者



平成27年度「目で見ると北方領土」視察研修(公益社団法人北方領土復帰期成同盟釧路地方支部・町共催)が11月17日に行われました。

天候にも恵まれた中、町民の皆さん29人が参加し、根室市を訪問。北方四島交流センター「ニ・ホ・ロ」を見学した後、納沙布岬から北方四島を望みました。北方館「望郷の家」では、北方四島の自然や領土問題について理解を深めました。参加者の皆さんからは「北海道から3.7キロと最も近い歯舞群島の貝殻島も占領下にあり、憤りを感じる」などの声もあり、北方領土返還運動の必要性をあらためて感じたようでした。

11月15日

### 第10回北海道文化団体協議会奨励賞 聖月流日本吟剣詩舞道会川湯支部が受賞

聖月流で詩舞を学ぶ子どもたち



聖月流日本吟剣詩舞道会川湯支部(松谷幹子支部長)の皆さんが11月15日、第10回北海道文化団体協議会奨励賞を受賞しました。

同賞は、地域の文化振興に功績のあった団体を同協議会が表彰するものです。同会は1986年設立。伝統文化である詩舞の伝承・普及に務め、地域の文化活動の中心的役割を担ってきました。特に子どもたちの指導と育成に力を注ぎ、現在も大人の会員のほか10人の子どもたちが、毎週お稽古に励んでいます。こうした活動が評価され、今回の受賞となりました。

11月16日

### エコミュージアムセンターの暖炉が大人気 わんぱくクラブが焼き芋作り

暖炉で焼いたお芋おいしいね



川湯地区の放課後児童クラブ「わんぱくクラブ」の皆さんが11月16日、川湯エコミュージアムセンターで焼き芋作り体験を行いました。

秋の恒例行事として毎年行われているもので、この日は約30人が参加。同センターには実際にまきを燃やす暖炉があり、子どもたちはアルミホイルで包んだサツマイモやジャガイモを暖炉へ入れました。焼き上がる間は館内の展示を見たり、クイズに挑戦したり、外遊びで身体を動かすなどして過ごし、お腹をすかせてから試食。おいしく焼き上がったイモを頬張ると笑顔が弾け、大満足の様子でした。



12月3日

### 567点から選ばれた4点の一つに 弟高の齊藤春佳さんが標語で奨励賞受賞



表彰状を受け取る齊藤さん(左)

弟子屈高校(木村浩士校長)3年の齊藤春佳さんが、釧路教育局が行う釧路管内「北海道学び推進月間」標語で奨励賞を受賞しました。贈呈式は12月3日、同校で行われ、同局の青野努次長が齊藤さんに表彰状を手渡しました。

北海道教育委員会では、4月と11月を「北海道学び推進月間」に指定。啓発活動の一環で標語の募集も行っています。釧路管内では小学生181点、高校生386点の応募があり、齊藤さんの作品を含め4点が入賞しました。齊藤さんの作品は「『学びたい』そこから始まる 夢がある」。齊藤さんは「標語に託した思いがみんなに伝わればうれしい」と話しています。

12月2日

### 長きにわたり選挙の啓発に尽力 早川鶴松さんに総務大臣感謝状



喜びの早川さん(左)から人目

国民参政125周年・普通選挙90周年・婦人参政70周年記念における選挙関係功労者表彰で、町選挙管理委員長の早川鶴松さん(82歳・札幌市内)に総務大臣感謝状が贈られました。贈呈式は12月2日、役場で行われ、北海道選挙管理委員会事務局釧路支所の木戸正典参事から早川さんに感謝状が手渡されました。

表彰は、初めて国民が国政に参加した第1回衆議院議員総選挙から125年など節目の年を迎えたことに合わせ、民主政治の確立と選挙の啓発運動に功績があった方をたたえるもの。早川さんは2000年に町選挙管理委員に選任され、2002年からは同委員長。選挙啓発に長く尽力したとして、今回の受賞となりました。

11月18日

### 写真家として地域文化の振興に貢献 水越武さんに地域文化功労者表彰



表彰状を手にする水越さん(右)

自然写真家の水越武さん(77歳・屈斜路)が11月18日、文化庁の平成27年度地域文化功労者表彰を受けました。

この表彰は、地域文化の振興に功績のあった個人や団体を文部科学大臣がたたえるもの。国内外の山岳を中心とした自然写真で知られる水越さんは、1999年に第18回土門拳賞、2008年に芸術選奨文部科学大臣賞、2013年に北海道文化賞など受賞歴も多数。また、地域のフォトコンテストの審査員を務めるなどの活動が評価され、今回の受賞となりました。道内からの受賞者は、水越さんを含め2人だけです。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課政策調整係 ☎ 4 8 2 - 2 9 1 3 (課直通)

12月7日

### 木育に役立てて おひさま保育園に木のプール



木のプールで大はしゃぎの園児たち

おひさま保育園(元山久美子園長)に12月7日、木の枠に木製の玉を敷き詰めた木のプールが設置されました。

木製の玉に使われているのは、町内産のシラカバ。長さ5センチほどの転がりにくい楕円形で、玉あります。釧路信用金庫創業90周年記念事業の一環で贈られたもので、園児が遊ぶのはもちろん、町が進める木育にも活用されます。

12月4日

### 高齢者の見守り活動で連携 町とコープさっぽろが協定を締結



協定書にサイン

町と生活協同組合コープさっぽろの、高齢者等の地域見守り活動協定締結式が12月4日役場で行われ、徳永町長と社の中島則裕専務理事が協定書を交わしました。

同社では、毎週同じ曜日に同じ担当者が組合員の自宅まで商品を届ける宅配システム「トドック」を活用し、高齢者の見守りを行う協定を道内各自治体と結んでいます。町との協定は道内123番目、釧路管内では釧路市、釧路町、白糠町に次いで4番目です。今後は協定に基づき、配達先で異変や事故を確認した際は、速やかに町に連絡するなどの活動を行います。

11月24日

### インターネットで越冬隊員と交流 美留和小児童が南極について学ぶ



画面に見入る参加者

美留和小学校(榊勉校長)の児童と保護者の皆さん約20人が11月24日、昭和基地に滞在する南極観測隊員の高橋学察さんとインターネットで交流しました。

同校PTAの橋田真澄さんが高橋さんと交友があり、実現したものです。高橋さんは中標津保健所勤務で、2014年12月から第56次観測隊として南極に滞在。滞在は2016年2月までの予定で、野外観測の支援業務を行っています。高橋さんは画面を通じて、基地周辺の様子や基地内の施設などを紹介。オーロラなどについても説明したほか、南極での生活など児童からの質問にも丁寧に答えていました。

11月24日

### 地域が目指すべき姿について意見交換 南弟子屈地域活性化協議会で6回目の会議



活発に意見交換をするメンバー

南弟子屈地域活性化協議会(小澤重則会長)の第6回ワーキンググループ会議が11月24日、旧昭栄小学校で開催されました。

同協議会は5月設立。地域の活力とコミュニティの核を担ってきた昭栄小学校の閉校を受け、地域ぐるみでのまちづくりを進めようと設立されたものです。今回のワーキンググループ会議には約20人が参加。過去5回のワーキンググループ会議で話し合った地域の課題や目指すべき将来像をもとに、将来ビジョン案について意見を交わしました。

12月17日

### 子どもたちのため安心・安全・味にこだわり 初めての給食試食会



昔ながらのスタイルで盛り付け

町学校給食センター主催の給食試食会が12月17日、弟子屈中学校で開催されました。児童・生徒が普段食べている学校給食を一般の方にも知ってほしいと開催されたもので、17人が参加しました。同センターや学校給食についての説明を受けた後、いよいよ試食。メニューはポークカレー、バナナのカスタードクリームあえ、牛乳で、皆さんはおいしそうに味わっていました。添加物や加工品をなるべく使わないなど食材の吟味はもちろん、手作りにもこだわっている給食は、カスタードクリームも手作りし、参加者の皆さんは驚いていたようでした。

12月12日

### 地元の名人が講師です 屈斜路自治会でそば打ち体験



名人の丁寧な指導を受けながらそば打ち

町公民館和琴分館事業「そば打ち体験」が12月12日、屈斜路研修センターで開催されました。

屈斜路自治会の皆さんの世代間交流を目的に行われたもので、お子さんからお年寄りの方まで35人が参加。同自治会の3人のそば打ち名人の指導の下、地元産の摩周そばの粉を使ってそば打ちに挑戦しました。

11月27日

### みんなで正しい体操ができました 奥春別小が全国ラジオ体操コンクールで奨励賞



贈呈式を終えて

奥春別小学校(中村涼子校長)の皆さんが、第2回全国小学校ラジオ体操コンクール(かんぽ生命保険主催)で奨励賞を受賞しました。贈呈式は11月27日、同校で行われ、同保険帯広支店の西山英児業務部長から、児童会長の岡本響哉君(6年)に表彰状が手渡されました。

コンクールはラジオ体操の普及と健康増進が目的で、今回は全国から約450チームが参加。体操の様子を撮影した動画で審査が行われ、道内からは同校を含め2校が入賞しました。同校では、釧路市ラジオ体操連盟理事を務める中村校長の指導も受け、日頃から正しいラジオ体操に取り組んでいます。

11月27日

### 小学生が手づくりの催しに園児を招待 合同生活科「ましゅうランド」



趣向を凝らしたゲーム屋さん

町内5つの小学校の1、2年生が集まり、お店屋さんごっこを楽しむ合同生活科「ましゅうランド」が11月27日、弟子屈小学校で行われました。

生活科の授業の一環。コミュニケーションの大切さを学び、自らの成長を味わうことを目的に、毎年行われています。児童はグループに分かれて、魚釣りやパラシュート落としなどのゲームのお店を開店。招待された町内の保育園・幼稚園児がお客さんとなり、各お店を回りました。ゲームの内容は児童が考えて準備したほか、当日は園児を相手に接客も行いました。